5. 図書等資料の配布　質疑書・回答書

質疑番号	資料番号	資料ページ番号	質　問	回　答
屋根1	基本設計図	A-13～16	棟包みパネル目地は、パネル取外し以外の目地シールも含んだ撤去・新設のシーリング更新工事で宜しいでしょうか。また、シーリングは、変成シリコーン系シーリング材(MS-2)で宜しでしょうか。	基本設計図のとおり、棟包みはステンレス屋根の更新に伴い、取外し、再取付を行うこととし、その上で、周辺目地部のシーリング更新及び超速硬化ウレタン防水新設を行います。被着体の組合せとシーリング材の種類は公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)によることとし、詳細は実施設計段階で決定します。現段階ではご質問のとおりとして問題ありません。
屋根2	基本設計図	A-04	X11-23・X26-38(上部屋根伏図)で中央部の残置の明記は、キャンバーのみ残置で構造用合板(キャンバー上部)撤去と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
屋根3	基本設計図	A-1～16	図中のコメントに①ー⑫ナンバーリングがありますが、各番号は、共通する改修工事と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
屋根4	基本設計図	A-16	竪樋裏立面改修図でダブルカーブジョイントのダブルの特記の意味をご教示下さい。	カーブジョイントは立上りに沿って水勾配を取る納まりを意図しています。ダブルカーブジョイントは水下部において、直交方向にも水が抜ける納まりを意図しています。詳細は別図を参照してください。
屋根5	基本設計図	A-10・11	現地調査等で図中のハイサイドサッシ水切のシーリング撤去・新設の更新がありますが、サッシ廻りのシーリングの劣化が著しいことを確認しました。昨今のゲリラ豪雨や強風を伴う風雨に対応できるよう対策工事が必要となる可能性がありますが、本件については、実施設計段階での協議と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
屋根6	基本設計図	A-1～16	現地調査等で屋根面の冬期における屋根面・樋に融雪凍結防止ヒーターが既存にあることが確認できました。今回の改修では既存融雪凍結防止ヒーターについて記載がありませんが、本件については、実施設計段階での協議と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
屋根7	基本設計図	A-4・6・8	現地調査等で妻面軒先からの落雪・滴下により第三者へ配慮が必要と思われます。屋根流れの変更と合わせて雪止め(水止め)カバーの撤去・新設の更新により落雪・滴下対策をする必要がある可能性があります。本件については、実施設計段階での協議と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
屋根8	基本設計図	A-1～16	屋根改修における竪樋・横引樋の取外し・再取付、あるいは撤去・新設とありますが、竪樋・横引樋の納り詳細が不明ですのでご提示可能でしたらお願い致します。	屋根施工図、竪樋・横引樋の納り詳細を提示します。
屋根9	基本設計図	A-04・06	図面最上段(X11～23、X26～38)の嵩上キャンバーの高さが500と記述されています。施工図では300だと思いますが、300で想定して宜しいでしょうか。	嵩上キャンバー高さは300としてください。
外部 コンコース1	基本設計図	A-17～18	北側2階外部コンコース防水改修で防水押えコンクリート床面のひび割れ補修に特記ありませんが、クラック補修を見込んでいるようでしたらご指示下さい。	コンクリート床面の補修については、実施設計段階での協議とします。
外部 コンコース2	基本設計図	A-17・18	北側2階外部コンコース防水改修範囲で吹抜部分は除外と考えますが、階段部分の補修範囲をご教示下さい。	吹き抜け部分は除外とします。 階段部分は踏面、蹴上とも全て防水施工としてください。 なお、階段部分の防水施工範囲については、実施設計段階で決定します。現段階では基本設計図のとおりとします。
外部 コンコース3・アリーナ1	基本設計図	A-18・20・25・26	図中シリコンシーリングとありますが、変成シリコーン系シーリング材(MS-2)と考えて宜しいでしょうか。	被着体の組合せとシーリング材の種類は公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)によることとし、詳細は実施設計段階で決定します。現段階ではご質問のとおりとして問題ありません。
アリーナ2	基本設計図	A-26	アリーナ床見切において床面より突出している部分はグラインダーで平滑にする(対象長さ20m)とありますが、位置が不明でしたのでご教示下さい。また、図中にある両サイドカッター入れとシーリングは、図中赤線部すべてでしょうか。合わせて目地廻りのコンクリートの欠け・目違いの対応については、実施設計段階の協議と考えて宜しいでしょうか。	平滑にする範囲は実施設計にて精査するため、現段階では対象長さを見込むこととします。 両サイドカッター入れとシーリングは、図中赤線部すべてとします。 目地廻りのコンクリートの欠け・目違いの対応については、実施設計段階での協議とします。

5. 図書等資料の配布　質疑書・回答書

質疑番号	資料番号	資料ページ番号	質　問	回　答
アリーナ3	基本設計図	A-24・25	アリーナの排水溝撤去・改修においてスチール製グレーチングの撤去・新設は、グレーチング蓋のみの改修で宜しいでしょうか。	A25図に示す側溝内の塗膜防水およびモルタル撤去・改修も工事範囲とします。
建具改修	基本設計図	A-28	改修する鋼製排煙窓の仕上についてご教示ください。	既存鋼製建具の塗装面を下地処理の上、新設排煙窓と共にSOP塗り仕上げとします。
機械1	基本設計図書	P10 M-32	アリーナ空調系統のブライン管システムをご教示ください。 各空調機械室（B01,05,06,07）へのブライン流量が1020→1920L/minと増になっていますが、ブライン管盛替えはどの範囲まで考えればよろしいでしょうか。	P10熱源フロー図（改修後）のアリーナ空調系統のブラインポンプ流量を1,020L/minとし、熱交換器HEX-14及びブライン循環ポンプBP-10～13の新設は中止としますが、提案の概算工事費積算においては、基本設計図のとおり費用を計上してください。
機械2	基本設計図書	M-13 M-24	温水ヘッダーHH-1とHRH-1の工期に齟齬があると思われます。 ・M-13撤去機器表では2期で更新 ・M-24新設機器表では1期で更新 ※2期工事と考えてよろしいでしょうか。 付近のポンプやヘッダー等更新が2期工事となっています。それに合わせてHH-1とHRH-1を更新とした方が1期工事での配管盛替え工事削減が期待できるかと思います。	M-13撤去機器表を正とし、温水ヘッダーHH-1とHRH-1は2期工事で更新予定とします。
機械3	基本設計図書	M-13 M-24	冷温水ヘッダーCHH-1とCHRH-1の工期に齟齬があると思われます。 ・M-13撤去機器表では2期で更新 ・M-24新設機器表では1期で更新 ※2期工事と考えてよろしいでしょうか。	M-13撤去機器表を正とし、冷温水ヘッダーCHH-1とCHRH-1は2期工事で更新予定とします。
機械4	基本設計図書	M-16 M-27	外調機AHU-10撤去で15000CMH分室内が負圧になると想定されます。 AHU-10はエアバランス確保のため残置と考えてよろしいでしょうか。	外調機AHU-10は、基本設計図のとおり撤去とします。
機械5	基本設計図書	M-16 M-27	外調機AHU-11は冬期に使用していると施設管理の方から伺いました。 AHU-11は撤去取りやめとし、既設のまま使用すると考えてよろしいでしょうか。 もしくは更新する場合でも他空調機と同様に2期工事として考えてよろしいでしょうか。	AHU-11は撤去取り止めとし、2期工事で更新予定としますが、提案の概算工事費積算においては、基本設計図のとおり費用を計上してください。
機械6	基本設計図書	M-16 M-27	今回、熱源がガス→電気式へ変更のため電気トランス容量がアップとなります。 電気室用の空調機AHU-9は今回撤去としていますが、発熱負荷アップとなりますが、既設エアコンで問題ないでしょうか。 容量アップが必要ではないでしょうか。ご教示願います。	電気室の発熱負荷アップへの対応については、実施設計段階での協議とします。
機械7	基本設計図書	M-19 M-28	床置給気ファンSF-15更新を2期工事に変更可能でしょうか。 SF-15は機械室壁、ブラインタンクBT-1、配管類に囲まれており、搬出入が非常に困難になります。 BT-1が2期工事にて更新なので、タンクを撤去した際にSF-15も2期工事で更新とすればファン搬出入経路の確保が容易になるかと思います（作業効率アップが期待できます）。	更新製氷用ブラインチラーと既存給気ファンSF-15の連動制御が可能であれば、2期工事で更新としますが、提案の概算工事費積算においては、基本設計図のとおり費用を計上してください。
機械8	基本設計図書	M-20 M-28	天吊排気ファンEF-14,15更新を2期工事に変更可能でしょうか。 EF-14,15直下に熱交換器HEX-7,8が設置されており、付帯する熱交換器および配管を撤去しないとファンの搬入経路が確保できません。 HEX-7,8は2期工事にて更新なので、EF-14,15も2期工事とすれば、1期でのHEX用配管撤去復旧分コスト削減が期待できるかと思います。	更新製氷用ブラインチラーと既存排気ファンEF-14,15の連動制御が可能であれば、2期工事で更新としますが、提案の概算工事費積算においては、基本設計図のとおり費用を計上してください。
機械9	基本設計図書	M-51 M-73 M-12	熱源制御　HEX-10　について、 ・M-51計装図(1)(撤去)では撤去対象外 ・M-73計装図(1)(改修)では未記載 M-12撤去機器表で2期工事にて更新となっているので、HEX-10廻り計装工事はM-73図では記載漏れしているだけで、2期で更新すると考えてよろしいでしょうか。	M-12撤去機器表を正とし、給水一次加熱熱交換器HEX-10は2期工事で更新予定とします。

5. 図書等資料の配布　質疑書・回答書

質疑番号	資料番号	資料ページ番号	質　問	回　答
機械10	基本設計図書	M-51 M-12	熱源制御　HEX-7,8　について、 ・M-51計装図(1)(撤去)では1期で撤去 ・M-12撤去機器表では2期で更新 HEX-7,8は2期で更新と考えてよろしいでしょうか。	M-12撤去機器表を正とし、冷水熱交換器HEX-7,8は2期工事で更新予定とします。
機械11	基本設計図書	P13	8.さく井設備計画 改修後のｼｽﾃﾑが不明です。どのようなご計画になるかﾌﾛｰ図をご提示いただけないでしょうか。 【現状】 ・井戸2本使用（既設は4本あるが2本使用不可） ・還元ﾎﾟﾝﾌﾟ2台使用 ・還元ﾎﾟﾝﾌﾟ放流先は屋外桝 【改修後】 ・井戸3本使用（既設2本＋新設1本） ・還元ﾎﾟﾝﾌﾟ4台使用（既設2台＋新設2台） ・新設還元ﾎﾟﾝﾌﾟ放流先不明	さく井設備改修後のシステムは下記のとおりです。また、システムフロー図は別図のとおりです。 【現状】 ・井戸2本使用（既設は4本あるが2本使用不可） ・還元ﾎﾟﾝﾌﾟ4台(2,700L/min/台)使用(2台交互運転×2Sets) ・還元ﾎﾟﾝﾌﾟ放流先は屋外桝 【改修後】 ・井戸3本使用（既設2本＋新設1本） ※井戸を1本追加する目的は故障時を考慮したものです。 運転方法としては3台中2台のローテーション運転とします。 ・還元ﾎﾟﾝﾌﾟ4台(2,700L/min/台)使用(2台交互運転×2Sets) 既設2台＋新設2台 ・還元ﾎﾟﾝﾌﾟ放流先は変更なし
機械12	基本設計図書	P13	8.さく井設備計画 【改修内容】・井戸の新設で、塩素滅菌装置設置を計画すると記載あります。機器の仕様をご指示いただけないでしょうか。	下記のとおり、既存塩素滅菌装置と同等の仕様です。 【機器仕様】次亜塩素タンク100L、注入ポンプ吐出量74mL/min×1.0MPa、制御盤共
機械13	基本設計図書	M-99	井水還元ﾎﾟﾝﾌﾟ更新は、既に更新済みﾎﾟﾝﾌﾟに能力を合わせ、更新するﾎﾟﾝﾌﾟの動力22kW→45kWのﾎﾟﾝﾌﾟに変更としてよろしいでしょうか。更新するﾎﾟﾝﾌﾟ台数は撤去4台、新設4台でよろしいでしょうか。	井水還元ポンプPWS-1～4は2台ずつ交互運転をしています。PWS-1,3は更新済みのため、PWS-2,4の2台を撤去・更新とします。なお、更新するポンプの動力は45kWに変更します。
機械14	基本設計図書	M-103	井戸ｹｰｼﾝｸﾞ材のﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管が、井戸業者で取扱終了となりましたので、材質を代替品(SGP)に変更としてよろしいでしょうか。	代替品に変更して構いません。
機械15	無	図面無	空調機械室B03に井水用塩素滅菌装置が設置されています（竣工時は施工範囲外）。現場調査の際、施設管理の方から現在使用していないため撤去してほしいと要望ありました。1期工事にて撤去と考えてよろしいでしょうか。	現在使用していない井水用塩素滅菌装置の撤去については1期工事に含みませんが、実施設計段階で協議します。
電気1	基本設計図書 電気設備	P7	受変電設備更新計画において、「現在使用していない予備線系統の構成は改修するにあたり撤去したシンプルな設備構成とする」記載がありますが、既に2020年の工事で予備線系統は撤去されており引込高圧ケーブルについても更新されております。 計画図面に記載はありますが、工事不要と考えて宜しいでしょうか。	基本設計図を正としてください。実施設計にて精査するものとします。
電気2	基本設計図書 電気設備	P7	受変電設備更新計画において、「励磁突入電流対策の機器を採用とする」との記載がありますが、現場調査の結果、現在エネセーバの機器は設置されておらず、今回更新に伴い500kVA以上の系統に追加すると電気室スペースがなく配置出来ません。 上記の事から基本設計図の通りVCBでの計画で宜しいでしょうか。	基本設計図を正としてください。実施設計にて精査するものとします。
電気3	中央監視		中央監視設備改修にあたり、現状設置されている機器がオムロン製ですが、オムロン製の通信機器が納期未定となっており、工期中に施工出来るか不明確な為、納期が確認出来るキーエンス等の製品による更新の計画として宜しいでしょうか。	既存同等品での提案は可能とします。
電気4	無	無	以下の資料を頂きたくお願いいたします。 ・受変電設備点検結果報告書（低圧含む）（中部電気保安協会） ・消防設備点検結果報告書（自火報・防排煙・誘導灯・発電機・蓄電池他）	貸与します。